



# 春闘学習討論集会 開催

## 労働法制改悪NO！残業代ゼロ法案に反対！



### 介護・医療・保育現場の深刻な人手不足は「月十万円も低い」賃金格差

12月2日(土)、春闘学習討論集会が札幌で開催され、18地域から112名の参加がありました。

北海道春闘共闘、赤坂正信副議長の挨拶の後、基調報告は、全労連副議長の野村幸裕さんから、(1)春闘の課題、(2)要求の実現を阻むもの・推進するもの、(3)闘い方、等について話され、介護・医療・保育現場の

「働き方改革」阻止、あるべき働くルール実現、長時間・過密労働の解消にむけて、労働時間調査や「36(労働基準法36条時間外労働)協定調査」を提起しました。

③無期雇用転換キャンペーンの展開を訴え、大量解雇・雇止めが行われることを防ぐための、学習と宣伝を強める

無期雇用・転換のことなら労働組合にご相談を！  
2018年4月から 労働契約法(第18条)

### 「無期雇用」転換 5年ルール

(有期契約が通算で5年を超えた場合、無期契約に転換できる制度)

最後に、④安倍9条改憲阻止のたたかいとして、3000万人署名を北海道で100万人を4月25日までに集めることを提起しました。

第2部は、黒沢幸一労連議長がコーディネーターに、旭川労連の平山さん・医労連の坂本さん・札幌青年ユニオンの更科さん・福祉保育労の松原さんをパネラーに、パネルディスカッションが行われました。

「無期転換講座に50名集まり、雇止めを防ぐことができた」との報告がありました。教育現場からは、「教員の長時間労働が問題になっているが、その原因の一つに、部活動の過熱化がある」との意見が出されました。

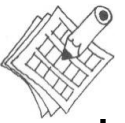
# =「明日の平和をつくりだす夕張の会」= “バスまちスポット”で3000万人署名



11月24日、明日の平和をつくりだす夕張の会では、南清水沢に新設された“バスまちスポット”前で、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」（3000万人署名）に取り組みました。

雪がちらつき、冷え込む中、くまがい桂子市議が街頭から「自衛隊を憲法に書き込むことは、際限のない武力行使につながります…」と訴え、会のメンバー4人が通行する市民や、バスまちスポットを利用する高校生等にも声をかけて対話し、17筆が集まりました。

「戦争はイヤなので…」と署名してくれた中学生もあり、会では「次はわかりやすいチラシも渡したいね」と話していました。



## くずさんの 夕張歴史散歩(17)

### 驚くべき犯罪的行為 ①

しばらくお休みをいただいていた「夕張歴史散歩」を、再開しようと思えます。相変わらずの気ままな「散歩」です。お付き合ひ願って、一緒に散策しませんか。

### 外勤労務の報告書

昨年11月「ゆうばり民報NO1537号」に北炭の労務管理③を書きました。その際、北炭の管理体制は、炭鉱現場だけでなく、日常の家庭生活にもおよぶ日常監視・管理の実態を生々しい事例を紹介するとお約束しました。

ここに一綴りのファイルがあります。北炭外勤労務（連絡員）の報告書の綴りです。これを見ると、日常の家族の動向までも事細かく監視していて、会社に報告されています。しかも、会社の幹部は確実に目を通し確認したという認印まであるのです。

### これは事件

昭和47年1月24日付 社光区連絡員 鈴木 印

による労務課長と労務係長あての  
事故報告書です。

一、事故発生年月日 昭和47年1月22日 午後

9時30分頃

一、内容 社光二区、二一六号の四 〇〇〇〇

方にて（五七一・一碓機電）一月二十二日午後九時三〇分頃、雷管一と残火薬が発見され、直ちに連絡所届出がありました。調査の結果此の石炭は一月一三日に配炭されたものであり、〇〇〇〇が石炭をペチカに投入しようとした時、雷管のコードを発見した為、事故を已然（ママ）に防いだものであります。

注 太字は原文のまま。届け人はあえて〇〇とした。〇〇の（ ）書きは、本人の鑑札番号と職場を示す。



島山和也「かけある記」  
前衆議院議員

## 島山 和也

### もっと「鉄路を守れ」の声を

JR北海道が十区間十三路線の「維持困難」を発表して、一年が経ちました。この問題は沿線住民の問題だけでなく、北海道の未来にかかわる課題です。通学・通勤・通院、物流や観光、駅舎も含めた町づくりなど、道内各地で鉄路を守るとりくみが広がってきました。

先日は新ひだか町で、日高本線の早期復旧や活用をめざしてフォーラムが開かれました。基調報告をした酒井芳秀・新ひだか町長は「国の抜本的な支援が必要」と強調され、元エアドウ副社長や元北海道新聞専務などのパネリストが「日高は観光に適した地域」「鉄道は国民にとって必要なもの」など応じました。住民からの発言も続き、予定時間を大きく超えるほど熱気ある集まりでした。

札幌では、鉄道施設の安全も問われています。党道議団と厚別区へ、高架からの落下物調査にも行きました。重さ二・五キロのコンクリ片が落下し、調べたら今年だけで二十件の落下があったのです。六月には手稲区で、十八キロの柵が落ちています。JR北海道は「金がない」などと言っている場合ではありません。改修など急ぐべきです。合わせて問われるのは国の姿勢です。こんな状況になっても、なお国はJR北海道まかせにするのでしょうか。国には、公共交通の安全の責任はないと言おうのでしょうか。新ひだか町のフォーラムでは、コディネーターの方から「もっと道民も声をあげましょう」と呼びかけられました。私もいっしょに運動を広げます。